

「亀岡市農業委員会 第1ブロック地区連」

(京都府亀岡市第1ブロック連絡会議)(第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年5月14日(火) 19:00~
- 場 所: 亀岡市保津町自治会館
- 出席者: 農業委員3人、推進委員5人
- 報告者: 森田一三 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 市域の南東部に位置する平地農業地域。(農)保津による大規模農業。
- 水田地帯と畑(蕪、ハウス)地帯大規模な住宅地域がある地域
- 大堰川の氾濫地域でもある

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 篠地区において機構関連事業に向けた取り組み。(5/11市による説明会)
→京力農場プランづくりのための話し合いを各区で進める。
- 市街化区域も多く、農業に対する関心が薄い地区も。→荒廃農地も出てきている。
- 京都市から近いこともあり、若者の新規就農も増えつつある。
- 農家組合長が1年任期の区があり、順番・何も分からないままに任期を終える。
- 機構関連事業の説明会でも、「圃場整備ありき。」で、話し合いの重要性が…。農業委員の重要な役割。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援